



学校だより

チーム身延中

令和3年10月29日 No. 6
発行者 校長 今村弘樹

修学旅行で長野・富山に行ってきました

4月から延期になり、8月にはコロナ感染者数が全国で増加し、実施も危ぶまれるような状況にもなりました。感染状況が落ち着きを見せてきたことで、実施を判断する時期に非常事態宣言などが出ていないこと、身近で対応も可能だということ、そして修学旅行として見所も十分あることなど考慮し、10月17～19日の長野・富山への修学旅行としました。

ちょうど寒気が来たときにあたり、1日目は大変な寒さでした。諏訪湖で水陸両用バス（窓のないバスに寒風が吹き抜けて…ブルッ）、岡谷で蚕糸博物館（実際に繭から絹糸を紡ぐところも）、松本城（事前学習をして出された課題をクリア）に登り、松本の素敵なホテルに宿泊。2日目は立山黒部アルペンルートを経由して様々な交通機関を乗り継いで、黒部ダムから立山室堂へ（景色最高。紅葉と前日の雪にも触れ…）。富山に泊まって3日目は日本海で地引き網（なかなかない体験。収穫は少しだったけど…）を体験し、イタイイタイ病博物館というコースでした。進路に向かっていく時期にもなり、夜の宿舎では勉強会も行われ、苦しい勉強にもみんなで向かい頑張りました。輝桜祭も台風に見舞われ、天気予報もちょっと心配…。しかし、〇〇先生の龍神様へのお祈りも効いてか、気持ちよい天気の中で活動できました。町からも多くの支援をいただき、こうやって修学旅行ができたこと、様々な制約の中、頑張ってきた3年生にいい思い出となるものができてよかったです。



■ 峡南地区新人体育大会

野球 ○7-0 (コールド) 市川・増穂 **パート1位**

男子バドミントン 団体 ●1-2 増穂 ●0-2 鯉沢 **3位**

2年シングルス 竹ノ内利徠 **3位**

2年ダブルス 深沢修平・竹ノ内利徠 **3位**

1年シングルス 望月龍之介 **1位**

女子バドミントン 団体 ○2-0 増穂 ○2-1 鯉沢 **1位**

2年シングルス 田中琉々 **1位** 浅川蘭 **3位**

2年ダブルス 浅川蘭・松村瑞希 **1位**

1年シングルス 両角月那 **3位**

バレーボール 予選リーグ ●0-2 六郷 ●0-2 南部

決勝リーグ ●0-2 増穂 ○2-0 市川 **5位**

柔道 個人 階級別 中村智希 **1位** 川口久輝 **1位** 望月悠貴 **2位**

男子ソフトテニス 団体 予選リーグ ○3-0 市川 ●1-2 六郷

決勝トーナメント ●1-2 増穂 ○2-0 鯉沢 県大会出場

個人 森田健太郎・森田孝太郎 **3位** 千須和寿哉・佐野弘和 **ベスト8**

女子ソフトテニス 団体 ●0-3 鯉沢 ●1-2 南部

ここからスタート 新人戦

1・2年生にバトンタッチした部活動。初めての公式戦です。夏休みの練習や学園祭の延期で練習は満足いくまでできなかったかもしれませんが、でもその中で今ある力をぶつけてプレイする姿に感動しました。

テニス部では女子個人戦で3ペアが初戦を勝ち、全ペア突破を目指した最後の1ペア。粘ってファイナルまでいったが敗れ、悔し涙を…。男子は団体戦、六郷中に1-1となり予選1位は朝比奈・仲沢ペアに託されました。デュースまでもつれるセットも続き、かなり苦しい中ファイナルまで持ち込みました。あと少し足りずに惜しくも…。男子はその後の試合を勝ち抜き県大会出場を勝ち取ります。結果はもちろん、ここで得た思いを、成果と課題を次につなげる、スタートです。

輝桜祭で築いた「つながり」が その後の生活にいかされていますか

輝桜祭から1ヶ月以上が経ちました。本当に素晴らしいものでした。様々な困難を乗り越えて、最後は雨の降りしきる中、「つながり」を意識して、お互い励まし合って高め合ってきた輝桜祭を締めくくりました。生徒たちの心の中に、先生たちの心の中に、見に来ていただいた皆様の心の中に、いつまでもずっと残る、何か温かい力になるようなものになりました。身延中学校の「力」を、生徒たちの持っている「可能性」を強く感じました。その思いを今もつなげてくれていると思います。大切なのはそこで培った力が、これからの自分自身、身延中学校の仲間を支え、伸ばしていけるようにすることです。1日参観いただいた身延町の保坂教育長様からいただいた感想を載せさせていただきました。ご覧ください。



コロナ禍、台風の影響等対応の難しさの中、適切な判断の下、素晴らしいイベントとなり、心が洗われるような思いを抱きました。

【テーマ】 全体にこのテーマの意識が高く流れていて、感心した。特に「つながりの欠片」などの創意工夫が随所に見られる。

【オープニング】 物を使わず、声を出さなくても、ボディーパーカッションで表現したことが素晴らしい。しかも気迫と統一感がある。見る者を引きつけている。

【部門発表】 どの部門も発表の仕方が洗練されてきていて、回数を重ねるごとに工夫が生きている。文化部の発表も素晴らしい。全校制作の発想がよく格調が高い。

【学年発表】3年:この期間でよく仕上げている。リズムや動きが時間の経過とともに盛り上がってきた。涙あり、笑いありの喜劇としてレベルが高い。

2年:かなりの時間をかけたダンス等の発表には学年としての意気込み、工夫、統一感を感じた。

1年:非常にレベルが高い。音楽に合わせて歌うオペレッタ風の仕上がりには驚いたし、感動した。表現豊かによく仕上げた。

全体を通して素晴らしい内容でした。よくぞここまで仕上げたと思ひ感動です。「心を紡ぎ、その先へ」生徒たちは伸びていきましょう。生徒と教職員の皆さんとの関係が濃密であることを実感したイベントでした。感謝申し上げます。



学校開放日 先週1週間、学校開放週間とし、保護者の方だけでなく、中高連携を行っている身延高校の先生方、学校評議員や小学校の先生など20名ほどでしたが、来校いただきました。コロナ禍で授業参観も開けませんでした。よい機会となりました。来ていただいた方のアンケートから一部を紹介します。

入学して授業参観がなかったので初めて授業の様子が見られてとてもよかったです。1人1人タブレットを使い、前の画面でみんなの意見が映し出されて、昔と違ってわかりやすく良いと思いました。先生と生徒の距離も近くて雰囲気良かったです。もっとたくさんの保護者が来るといいなと思いました。(保護者)

初めての学校開放日に来て、授業中の様子を見せていただきました。小学生とは違いやはり難しいと感じましたが、支援の先生もついでいただき、手厚く指導していただいていると思いました。子どもたちもそれぞれ発言できていて、その雰囲気はとも好印象でした。(保護者)

合唱練習をしているところを見させてもらいました。身延高校の生徒たちが中学生の歌声を聴いて(高校までステキな歌声が聞こえてきます)合唱したいと言っています。中学校で頑張ったことが残っているようです。(身延高校の先生)